

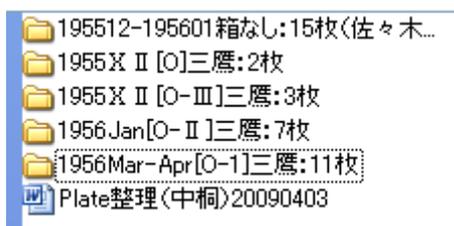
## \* アーカイブ室における写真乾板整理 (中桐分担分)

国立天文台には写真による観測が行われて以来の写真乾板が保存されている。1945年2月8日未明の本館消失によってかなり焼失したといわれているが、それでも数万枚の写真乾板が残されているようである。1960年開所の岡山天体物理観測所で得られた観測の写真乾板は、基本的には所有権は観測所にあり、観測者はその乾板を借出してリダクションが終ったら観測所に返還することになっている。また太陽関係の写真は、現在の太陽観測所によって整理、保管が行われている。したがって、アーカイブ室で整理を手がけている写真乾板は現在のところ三鷹に保管されていた写真乾板のうち太陽関係以外のものに限定されている。この整理は、佐々木五郎、佐藤英男両氏によって進められている。しかし、これらの写真乾板の保存状態は極めて悪い。

これらの写真乾板のうち、岡山天体物理観測所、堂平観測所のサイトテストによるシーイングテスト乾板が筆者に委ねられた。その量は極めて少量なので、シーイング調査の乾板のごく一部と思われる。

なかなか整理に手をつけなかったのだが、昨日、夕刻からこれら全ての乾板をスキャナーで読み取り、デジタルデータとして収録し、それらのリストを以下のように作成した。

### Plate:



#### 1955X II [0] [三鷹] 2枚

19551219-0-I-1 : Plate なし

19551219-0-I-2 : Plate なし

19551219-0-II-1 : Plate なし

19551219-0-II-2 : Plate あり (膜面剥れひどい)

19551219-0-III-1 : Plate あり (膜面剥れひどい)

19551219-0-III-2 : Plate なし

#### 1955X II [0-III]三鷹 3枚

19551219-0-III-5 : Plate なし

19551219-0-III-53 : Plate なし

19551219-0-III-54 : Plate なし

19551223-0-Ⅲ : Plate なし  
19551225-0-Ⅲ : Plate なし  
19551225-0-Ⅲ-25 : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19551225-0-Ⅲ-45 : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19551225-0-Ⅲ-46 : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19551227-0-Ⅲ-37 : Plate なし

**1956Jan[0-Ⅱ]三鷹 7枚**

19560111-0-Ⅱ : Plate 無し  
19560111-0-Ⅱ : Plate あり (完全に膜面剥れ)  
19560113-0-Ⅱ : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19560113-0-Ⅱ-10 : Plate なし  
19560114-0-Ⅱ : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19560114-0-Ⅱ-16 : Plate なし  
19560115-0-Ⅱ : Plate あり (完全に膜面剥れ)  
19560115-0-Ⅱ : Plate あり (周極星撮影、膜面剥れひどい)  
19560116-0-Ⅱ : Plate あり (膜面剥れひどい)  
19560116-0-Ⅱ-28 : Plate がない  
19560117-0-Ⅱ : Plate あり (Plate が欠け、膜面剥れひどい)  
19560117-0-Ⅱ-34 : Plate がない

**195512-195601 箱なし 15枚 佐々木処理済**

19551219-0-Ⅰ-1 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗(あまり写っていない)  
19551219-0-Ⅰ-2 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗(写ってはいる)  
19551219-21(0-2-1) : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗(あまり写っていない)  
19551219-0-Ⅲ-52 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗  
19551219-0-Ⅲ-53 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗  
19551219-0-Ⅲ-54 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、周極撮影  
19551223-0-Ⅲ-5 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、多分露出失敗  
19551223-0-Ⅲ-6 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、周極撮影  
19551225-0-Ⅲ-46 : Plate 周囲変色、膜面やや剥れ、周極撮影  
19551227-0-Ⅲ-37 : Plate 周囲変色、多分露出失敗  
19560111-0-Ⅱ-4 : Plate 周囲変色、膜面かなり剥れ、周極撮影  
19560113-0-Ⅱ-10 : Plate 周囲変色、膜面かなり剥れ、周極撮影 (何分か間隔で)  
19560114-0-Ⅱ-16 : Plate 周囲変色、膜面かなり剥れ、周極撮影 (何分か間隔で)  
19560116-0-Ⅱ-28 : Plate 周囲変色、膜面かなり剥れ、周極撮影 (何分か間隔で)  
19560117-0-Ⅱ-34 : Plate 周囲変色、膜面かなり剥れ、周極撮影 (何分か間隔で)

スキャナーで読み込んだ例を以下に示すが、膜面が正常なものは皆無であり、ひどいものは膜面が完全に剥れている。完全に剥れていないものもたくさんの皺が生じており、これらは、測定することは不可能である。それでも博物的な意味は十分にもっていると思う。



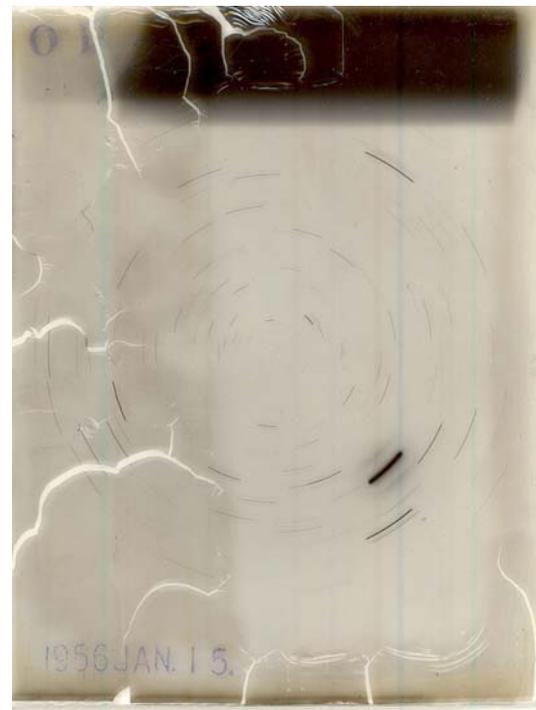
19560113-0-II-10



19551225-0-III-46



19551219-22



19560115-0-II



19560114-0-II



19560301-1



19560117-0-II 欠けがある例



19560114-0-II-16